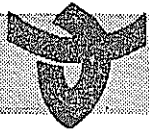


THE KŌHŌ NANKOKU



# 広報 南国

第 7 2 号

昭和40年12月25日

編集発行  
南国市広報委員会

事務所  
高知県南国市役所内  
(電 2111)

印刷 川北印刷株式会社  
(電 3151・有線155-11)



## 市の姿を

## フィルムに

文化、産業、観光など市の姿を映画におさめ、市の紹介や教材に利用し、あらためて市の姿を認識しよう、このほど市教委、広報などが中心となり、市映画製作委員会（長村元治委員長）の発足をみ、さつき後免町在住の井上清氏と契約し、現在、ちくちく撮影が進められています。

この映画は十六ミリ総天然色、経費三十万円（市費と寄附金）、三十分ものに仕上げる予定ですが、明年十月の完成がいまから待っています。

真剣な表情の井上氏

### 12月の人口

＝11月の異動＝

出生	44	死亡	31
転入	233	転出	162
11月末の人口		42,288	
世帯数		11,332	
11月 末		11,332	



年末とってひとしく考えることは、ことしも暮れるーということだ。それもこの一年間がうまうまという喜びのかみしめよりも、なにかの残念ではなからうか。▼広報ナンコクにもこの残念が多く、来年の土台として生かす考えである。▼ことしかり勇退する池川市長にたいし、市民はひとしく「ごころうでした」と謝意をささげよう。そして新市長の行政に期待をかけよう。その新市長は数多い公約をしている。どんな選挙でも公約はそう果たされないならわしである。いうところの「いったことを行なわないう」よい例で、古語の「食言」をあてはめることができる。なんと下劣なことよ。新市長は公約を果たすことが市民への義理であり、本人の人間としての尊厳、さらに市長としての権威を守る道である。とすると安易な考えで人気取りの気持ちで公約はしてないはずお手並みを拝見するとしよう。